

鍾乳洞に入ろう！

日本には鍾乳洞が多い。小さな国土は、穴ボコ列島と言ってもいい。今日はその中で、身体を使って大冒険が楽しめる、珠玉のコースを、お教えしましょう。

福島県田村市に、入水鍾乳洞という洞穴がある。ここには、照明のない洞穴を歩くコースがある。入り口で、700円を払う。ろうそくとマッチを渡され、手首に番号の付いたフダを付けられる。(8番。何だろう、このフダは?)

さあ、入るぞ。足元に水が流れている。冷たい！あれっ、明かりがなくなつた。ろうそくに火を点けなきゃ。そう、ここからは、ろうそくの明かりのみを頼りに進まなければならぬのだ。

天井からは、水がポタポタ。足元には、冷水がジャージャー。腹を引っ込めなければ通れない狭い場所が現われる。四つんばいでこの場所が次々と現れる。全身を使って進む。筋肉がパンパンだ。一步一步が真剣勝負。息もあがる。すでに汗びっしょり。視界は、前後とも、3メートル程度。そんな時だ。ジュッ！落ちてきた水が、ろうそくの明かりを消してしまつた。

すると……真っ暗闇に。いくら目を慣らそうが、何も見えない。流れゆく水の音だけが聞える。

(明かりをつけなきゃ！)

ポケットから、そおつとマッチ

を取り出す。ぬれないよう、慎重に、慎重に。「おおおつ点いたあ！」思わず声が出る。

(ん？まてよ。もし、マッチを水に落としてしまったら、この先、どうなるんだ……)

「あれ、8番のお客さん、まだ帰って来てないな。ほんじゃ、捜索行きますか」となるのかも。

最近、「危ない所」では、なかなか遊ばせてくれなくなつた。ところが、この入水鍾乳洞では、この大冒険が700円！

さあ、福島へ行こう！

【朝日新聞・マリオン】

2006年10月25日掲載

